

サイエンス・ダイアログ プログラム

'12 → '13



JSPS 日本学術振興会
Japan Society for the Promotion of Science
www.jsps.go.jp/j-sdialog/

ようこそ博士！

“世界の研究者が語る
科学の世界”



科学を通じて世界とつなぐ

いろいろな国の話を聞くことができる！

英語の多様性に触れることができる！

研究の最先端に触れることができる！

サイエンスコミュニケーション（研究者と生徒の交流）ができる！

研究活動の実際について知ることができる！

国際理解が促進され国際交流が実現する！

サイエンス・ダイアログとは？

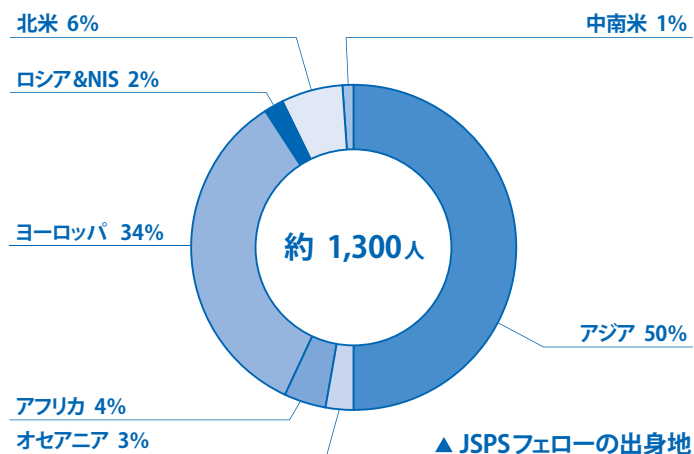
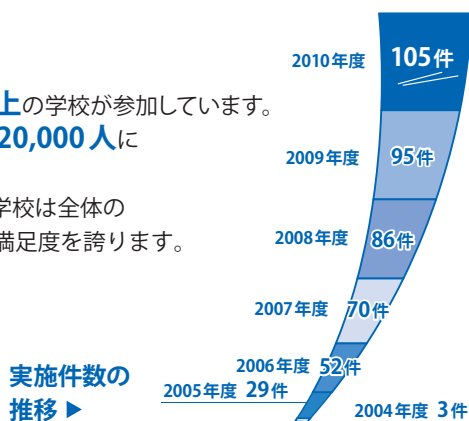
独立行政法人日本学術振興会（JSPS）のフェローシップ制度によって、多くの外国人研究者（JSPSフェロー）が日本の研究機関で最先端の科学を研究しています。サイエンス・ダイアログは、こうした海外の優秀な研究者の中から有志を募り、近隣の高等学校等で英語による講義を行うプログラムです。

講師になるのはどんな人？

講師は、JSPSのフェローシップ制度によって、厳しい審査を経て世界各国から来日し、最先端の学術研究に携わっている優秀な研究者です。

実績

- 全国で**100校以上**の学校が参加しています。
- 参加した生徒は約**20,000人**に上っています。
- 2回以上参加した学校は全体の約**70%**と、高い満足度を誇ります。



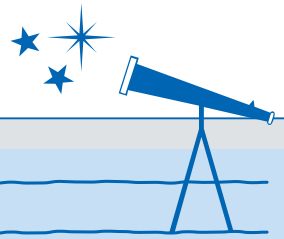
世界とつながる。英語でひろがる。
サイエンス・ダイアログで、教室に未来がやってくる。

授業の感想

- 生徒から（原文ママ）
 - ▷今まで一度も踏み入れたことのない世界に入れたことが楽しかったです。
 - ▷「英語ではこう表現するのか」という発見がいくつもあった。
 - ▷物の見方の違いの話がとてもおもしろかった。
- 学校の先生から（原文ママ）
 - ▷このプログラムは、～dialogueとありますように、一方通行な講演でなくて本当に生徒には「学び」があったと思います。
 - ▷このことがきっかけで、自分の進路に何らかの影響を受けた生徒が少なからずいたことは素晴らしいことであった。
 - ▷今回の講演を受講した学生の中に英語を話し海外に留学することを考えるようになった学生を見つけた。
- 講師から（原文英語）
 - ▷サイエンス・ダイアログは、たった3回しか参加できなかったことを残念に思うほどの素晴らしい事業だ。
 - ▷外国人研究者にとって、若い生徒たちや地域社会と交流したり、日本文化についてより深く学んだりすることができる素晴らしい機会である。

成功の秘訣

- 学校の先生方へ
 - ⇒JSPSフェロー（講師）との交渉は、基本的に英語によるメールや電話で行われます。本会のウェブサイトには、講師との円滑なコミュニケーションのためのサンプル英文を用意しています。
 - ⇒講師と同じ専門分野である日本人研究者が講義に同行し、日本語での解説や実験補助などの協力をする場合があります。
 - ⇒あらかじめ講義概要やキーワードリストを講師に作成してもらい、事前学習しておくことをお勧めします。
 - ⇒英語のレベル、専門性のレベル、実験の有無、日本語解説を入れてほしいタイミングなどは、参加校によって様々です。どのような授業にしたいか、参加校側の目的意識を明確にし、事前に講師や同行者に詳しく説明しておくこととよいでしょう。



参加するには？

＊お申し込みの際は、必ず下記Webサイトに掲載の「実施の手引き」をご一読ください。

●参加方法

参加される場合は、下記期間内にお申し込みください。期間内のお申し込みが難しい場合は、別途事前にご相談ください。

▶ 第一回申込 (2012年4～8月実施予定分)

実施ご希望日の2ヶ月前まで

▶ 第二回申込 (2012年9～12月実施予定分)

2012年5月23日(水)～5月29日(火)

▶ 第三回申込 (2013年1～3月実施予定分)

2012年9月5日(水)～9月11日(火)

●打ち合わせ

JSPSから参加校の先生に、講師側の連絡先をお伝えします。参加校の先生から講師側に連絡を取り、両者にて講演内容や必要な機器などについて打ち合わせを行ってください。講義には、講師と同じ研究分野の日本人研究者が同行する場合があります。

●交通費・宿泊費

講演実施後に、JSPSから講師及び同行者に交通費を支給します。宿泊が必要となる場合は宿泊費も支給しますので、事前にJSPSにご連絡ください。支給額は、いずれもJSPSの規程に基づいて算出した額になります。

●教材費 (消耗品費、通信運搬費、印刷費及び諸雑費)

講演を行うために実際に要したものの購入費用を、講師又は同行者からの請求に基づき支給します (上限5万円)。

●提出物

実施報告書及びアンケート

＊提出物の一部は本会のホームページ等に掲載しますので、ご了承ください。

Webサイトのご案内

サイエンス・ダイアログWebサイト (日本語)

<http://www.jsps.go.jp/j-sdialogue/>

●実施予定や実施状況がご覧いただけるほか、必要な資料のダウンロードができます。

- ✓ 申込書
- ✓ 報告書、アンケート様式
- ✓ サンプル英文 (講師側との連絡用)



お問い合わせ

独立行政法人日本学術振興会 国際事業部 人物交流課
〒102-8472 東京都千代田区一番町8

TEL 03-3263-1730,4098 FAX 03-3263-1854

✉ sdialogue@jsps.go.jp



日本学術振興会 (JSPS) とは？

- 文部科学省所管の独立行政法人で、日本の学術研究の振興を担う機関です。
- 主な事業は、①学術研究の助成 ②若手研究者の養成 ③学術の国際交流 ④大学改革支援で、2011年度の予算額は約3,347億円です。
- 博士号取得前後の外国人研究者に対し、日本で研究を行うためのフェローシップを提供しています。



実施例

平成23年7月に開催された
茨城県立並木中等教育学校での実施例です。



講師 Dr. Giuseppe Lorusso (独立行政法人理化学研究所)【イタリア】

同行者 東京理科大学博士課程 吉永 健太氏

テーマ 「宇宙にある化学元素の起源」

はじめに出身国であるイタリアの歴史や現在イタリアが抱える諸問題について、美しい映像を使って簡単に紹介しました。

次に、地球や宇宙の構成元素についての説明に入りました。ハッブル宇宙

望遠鏡の動画などを見せつつ、観測できる宇宙の大部分は水素とヘリウムから成っていることを紹介し、ビッグバンに関するふたつの有名な特徴について話を進めました。これらは私たちの住む地球のような、惑星の起源にもつながるものです。



その他、こんな講義が行われています！

● ニート・ひきこもりと日本文化：

発達・社会関係・および対応策の検討

講師→Dr. Vinai NORASAKKUNKIT (京都大学)【米国】

● 魔法のような炭素からなるナノ材料

講師→Dr. Shu-Ping HUANG (九州大学)【中国】

● 人工免疫組織を作る

講師→Dr. Jonathan K. H. TAN (京都大学)【オーストラリア】

● 植物の病気で困りですか？

プラント・ドクターにお任せ下さい！

講師→Dr. Christian Joseph R. CUMAGUN (神戸大学)【フィリピン】